

市民活動状況  
(7月末日現在)

|            |        |
|------------|--------|
| 市内NPO法人数   | 31 団体  |
| 当センター登録団体数 | 134 団体 |
| 来館者数       | 1,167人 |
| 印刷機利用枚数    | 6,137枚 |

## ひびき



発行枚数 650枚 メール配信 100団体

発行人 指定管理者NPO法人茨城県南生活者ネット 龍ヶ崎市市民活動センター長 島村宏之

龍ヶ崎市市民活動センターは社会貢献活動を行う団体を支援するための施設です。  
 会議スペース・作業スペース・印刷機・紙折り機・パソコン・多目的室等(1階)や  
 大会議室・小会議室・パソコン室・和室・工作室(2階)・陶芸室(1階外倉庫隣り)がご利用いただけます。  
 開館時間 = 午前9時～午後7時(日曜祝日は午後5時まで)2階各室は夜間も(午後10時まで)利用可能です。  
 休館日 = 月曜日および年末年始、特別に定める日  
 〒301-0004 龍ヶ崎市馴馬町2445 TEL 0297-63-0030 / FAX 0297-63-0571  
 E-mail r-suwan@titan.ocn.ne.jp URL https://ryugasaki-shiminkatsudo.net



## 市民団体活動紹介シリーズ No.24「NPO法人龍ヶ崎の価値ある建造物を保存する市民の会」

NPO龍ヶ崎建物保存会(略称)は2002年に旧小野瀬邸の保存運動をきっかけに発足し、2006年に組織をNPO法人化し現体制になりました。すでに20年以上にわたり歴史的建造物を生かしたまちづくりに取り組んでいる市民団体です。

歴史を学べばおのずと古いものは残るという考えから、市のまちづくりつなぐネットや市民活動センターとの共催で様々な歴史まち歩きを行っております。また、保存推進や活用の一環で、定期的に竹内農場西洋館(竹内明太郎別荘)や筑波庵(杉野翠兄俳句道場)のイベントを開催しております。

今年は、龍ヶ崎市市民活動サポート補助事業を活用し、「竹内農場西洋館竣工100周年記念式典&交流会」という大きなイベントを行います。日時は10月21日(土)14時～16時20分、会場は第1部(式典)が現地竹内農場西洋館、第2部(交流会)が長山コミュニティセンターです

第1部では来賓挨拶のほか祝典アンサンブル(クラリネット畠山美智子他)、二村悟氏(工学院大学客員研究員)による「西洋館のレンガ建築としての特色」と題したお話があります。出来るだけたくさんの方にご来場をお願いしたいところですが、会場の都合にて定員40名とさせていただきます。

参加申込は9月22日(金)9時よりHP又は電話にて受付開始になります。

HPは右下のQRコードからお入りください。電話は080-6637-1950(前田)になります。

なお、こうしたイベントの運営を手伝ってくださる会員を随時募集しておりますので、お気軽にご相談ください。



目指せ！市民活動日本一



## 講座のお知らせ その1 歩く歴史講座「旧小貝川の史跡巡り」

主催：龍ヶ崎市市民活動センター、共催：龍ヶ崎市教育委員会、NPO龍ヶ崎建物保存会、歩く歴史講座「旧小貝川の史跡巡り」開催します。約4キロの道程をご案内します。

英美子詩碑→小貝川決壊口の碑(S56)→熊野神社(旧高須村鎮守)→水塚→ふるさとふれあい公園(トイレ休憩)→八坂神社(旧長沖新田村鎮守)→稻荷神社(川原代道仙田坪鎮守)→道仙田河岸跡→総合福祉センター駐車場  
 江戸時代、龍ヶ崎の発展を支えた道仙田河岸の歴史や、小貝川氾濫との戦いに明け暮れた庶民の歴史、川原代で16年間過ごされた詩人英美子(はなぶさよしこ)とギタリスト中林淳真(なかばやしあつまさ)母子に思いを寄せ、旧小貝川の土堤跡を探りながら歩いてみましょう。

日時：10月7日(土)9時15分～12時(雨天の場合翌日8日)

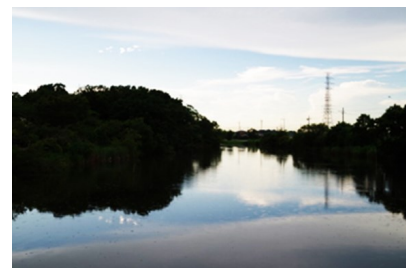
集合：龍ヶ崎市総合福祉センター駐車場(川原代町5014)

講師：NPO龍ヶ崎建物保存会理事長 前田 享史氏

参加費：200円(保険・資料代)

定員：20人

受付：9月22日(金)より センター窓口又は電話 0297-66-0030



## 市民活動コーディネーター育成講座「龍ヶ崎みらい会議」の報告

主催：龍ヶ崎市市民活動センター、7月25日(火)開催、テーマ～住み続けたいまちについて話そう～。

この講座はいつもの講義形式ではなく、カードを使い参加者同士で話し合うワークショップ形式で行われました。講師は植竹智央さん。29歳、驚くほど若い！

植竹さんのプロフィールは、1993年生まれ、石岡市在住。社会教育士、青少年育成協会理事。高校2年時からボランティア活動に取り組み、被災地支援や青少年ボランティア団体茨城県BBS連盟に所属し活動。

(BBSは*Big Brothers and Sisters movements*の頭文字を取った造語です。)

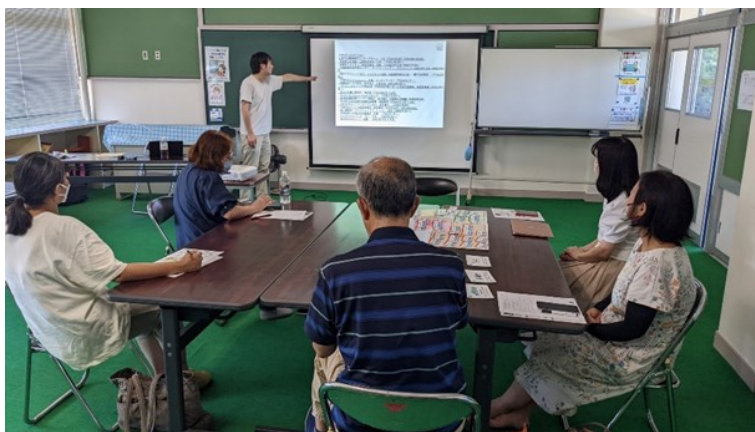
大学卒業後ファシリテーターとして独立。茨城県青少年育成審議委員を務めるなど幅広く活動されています。「肩書を語るだけでも1時間はかかりぐちゃぐちゃになってしまう」と、植竹さんはプロフィールの説明にいつも難儀されているようです。

当所の予定では参加者は8名2グループを予定していましたが、祭り疲れと暑さのため3名が欠席で、1テーブル5名にプラス講師とスタッフ2名を含め合計8名で行われました。

テーブルには「子供がのびのび育つ地域」「豊かな生活が送れる地域」「健康に過ごせる地域」「持続可能な地域」「人を育てる風土がある地域」といった、12枚のビジョンカードが並べられ、まず最初に参加者はどれが一番良いかを一斉に選ぶ。そして選んだ理由を一人ずつ説明し、最後にはグループ全体で1枚のカードを選び次のステップへと進む。

次に、「この町は賑わいがありますか？」「困った時には協力し合える町ですか？」「観光など訪問客が増えてますか？」「住んでいる町に関心が持てますか？」といったこの町との関わり方や有り様が具体的に書かれた40枚ほどのカードがあり、その中から参加者が順番に一つを選んで、選んだ人がこの設問のリーダーとなり、イエスカノーを参加者に決めてもらう。そしてなぜイエスなのか、なぜノーなのかを一人ずつ説明をし、みんなの意見を聞いた上で、再度イエスカノーをひとりずつ決める。そしてこの設問に対する全体としての結論を出す。この繰り返しで、この町の弱点や長所が見えてくる。

最後は円グラフで可視化すると「まちのウェルビーイング(その人にとって価値のある状態)」はとても良く、「くらしやすさ」はまずまず、行政との共創は最悪の結果となりました。この結果は5人で纏めたもので市民総意ではありませんが、どこを直せばもっと良いまちになるかを皆で考えるための参考になったと思います。とても斬新で素晴らしいワークショップでした。



## 講座のお知らせ その2 県内フードバンク活動の現状と未来

市民生活の知恵出し講座「食品ロスと貧困問題に取り組む県内フードバンク活動の現状と未来」を開催します。

食のボランティア活動「フードバンク」について知りたい方、一緒に考えてみませんか？

日 時：9月24日(日) 13時半～15時半

場 所：市民活動センター 大会議室

講 師：NPOフードバンク茨城 理事長 大野 覚氏

参加費：無料

定 員：20人

受 付：センター窓口又は電話 0297-66-0030

※スリッパ持参をお願いします



龍ヶ崎短歌会

終戦日われ小学の二年生ロシアの侵攻残さるる戦児

あやめ咲き亡き夫と行きし潮来へと一人静かに想い出しており

糸賀 浩子

大塚 純子